

+Cの賃貸 年間賃料売上詳細 -2021 年速報値-

デザイン性だけではない+Cシリーズの、事業優位性も、詳細に、ご確認いただけます。

<埼玉 01>

区分	期前	契約書1	入居日	退去日	転居	退去	1月分	2月分	3月分	4月分	5月分	6月分	7月分	8月分	9月分	10月分	11月分	12月分	計	連立集計
1K	20.09		2021.10				84,000	84,000	84,000	84,000	84,000	84,000	84,000	84,000	84,000	84,000	84,000	84,000	1,008,000	4,948,200
1K	20.09		2021.10				84,000	84,000	84,000	84,000	84,000	84,000	84,000	84,000	84,000	84,000	84,000	84,000	1,008,000	4,948,200

区分	期前	契約書1	入居日	退去日	転居	退去	1月分	2月分	3月分	4月分	5月分	6月分	7月分	8月分	9月分	10月分	11月分	12月分	計	連立集計
1K	20.09		2021.10				84,000	84,000	84,000	84,000	84,000	84,000	84,000	84,000	84,000	84,000	84,000	84,000	1,008,000	4,948,200
1K	20.09		2021.10				84,000	84,000	84,000	84,000	84,000	84,000	84,000	84,000	84,000	84,000	84,000	84,000	1,008,000	4,948,200

また例示として「神奈川 01」の説明をしますが、6色の色は6部屋がこの期間に退居し、濃い色の月から新規に入居した事を意味しています。その賃料の推移は上段に「5,000円値上げ」等々、個別に記載してあります。+Cシリーズはコロナの影響を受けずに安定収益を上げている、どころか、事業としては好況であったと言える成果になっているのではないのでしょうか。ちなみに「神奈川 01」と「埼玉 01」の右下、14,000万円と9,500万円は各事業が事業着手から5年ないし6年の間に売り上げた賃料の総額です。



戦後初であろう、東京 23 区からの人口流出現象に関しては先般、実数を持って記事にしました。それが+Cシリーズの賃貸への強力な後押しを、今後も継続するであろう事は明らかです。だからこそ、こうした好況時こそ、東京五輪を強行したことや専門家すらも理由を明確化できないコロナの予測を超える減少の揺り戻し等の発生を視野に入れ、既存入居者への支援策の検討を休まずに進めておくことが重要です。

■ 2021 年 速報値のポイントまとめ

- 全体で 10 件程度の入退居がありました。
- しかしそのほぼ全てが、値上げを実現しています。
- また、その入退居の間の空室期間はほとんどの物件で一ヶ月未満でした。
- つまり「+Cの賃貸シリーズ」は、空けば埋まり、値上がりする状態でした。
- このため一部物件では清掃と補修がバッティングするほど、準備時間が不足しました。

■ あなたにお勧めの記事

<p>○ カテゴリー一覧</p>	<p>○ +Cシリーズの賃貸一覧</p>	<p>○ 相続税節税 4 千万</p>	<p>○ 23 区からの流出状況</p>
------------------	----------------------	---------------------	----------------------